

臨 床

赤ミミズ酵素サプリメント使用臨床医のコメント集

※書籍「よごれた血管がキレイになる赤ミミズ酵素—

10人の医師が証言する健康回復のすごい力」より抜粋

◎動脈硬化

(112 ページ～114 ページ)

循環器内科の専門医が認知症の専門医に

松野晋太郎 医師

松野先生はコウノメソッドで推奨されている赤ミミズのサプリを知り、積極的に患者さんに使っています。本書で紹介する医師のなかでも、とくに赤ミミズ酵素を高く評価している医師の一人で、2017年2月に行われた「第3回認知症研究会」で赤ミミズ酵素サプリメントの効用に関する臨床報告をされています。

「僕は専門が循環器なので、認知症の患者さんを診ていてもいつも、どの患者さんでも、血流とか血管には意識がいきます。脳血流が改善すれば症状が良くなるのは、どのタイプの認知症でも同じですからね。赤ミミズの主な作用のひとつとして血圧の適正化が挙げられます。高めの方が飲むと、血圧手帳でギタンバタンしていた人がぴたっと130くらいで落ち着いてくる。それで下がりすぎたら薬をやめていく、というのが理想ですね。薬をやめていくための手段として、赤ミミズがあると思います」

松野先生はまた、赤ミミズ酵素にある血栓を溶かして動脈硬化のプラークを小さくしてくれる作用にも注目されています。

「動脈硬化の検査で良くなかった人が飲用すると、血管年齢がだいたい10歳は若返ります。70代の女性が飲用後半年で血管年齢を調べたら40代という結果が出て、機械が壊れているんじゃないかって検査技師さんが不安になって連絡をくれたことがありました。糖尿病になると、脳や眼、腎臓など、細い血管の動脈硬化が進行して詰まりやすい。男性機能も細い血管ですから、中高年の男性の精力回復にもいいようです」

一般的な健康常識では、コレステロールが高いと動脈硬化が進行しやすいと信じられていますが、松野先生は必ずしもそうではないと指摘します。

「最近、コレステロールを下げて心臓疾患の予後を改善することはない、ということがわかってきました。むしろ総コレステロール値が低すぎると、死亡率が高くなるという報告もあります」